

守りましょう！ごみ出しマナー

ごみステーションはみんなで使うものです。

ルールやマナーを守って、利用者全員が気持ちよく使えるようにしましょう。また、決められた日に指定の場所に出すようにしましょう。パンフレットなどを見ても出し方が分からないときは、環境課へ問い合わせてください。

問い合わせ 環境課美化推進係（☎ 0866—92—8338）

詳細は市ホームページから



市 HP

家でできること

- ごみ袋は空気を抜いて十字に縛りましょう。飛散防止や臭い抑制になります
- 生ごみは水切りをして出しましょう。臭い抑制や液だれの防止になります
- 缶やびん、ペットボトルは資源ごみです。中を軽く水洗いして、分別して出しましょう
- ペットボトルのキャップとラベルは取り外して、燃やせるごみで出しましょう



ごみステーションに持っていくとき

- 一度に大量のごみを出すのは控えましょう。量が多いときには直接クリーンセンターへ持ち込んでください
- 後から出す人のために、奥から整理して置くようにしましょう
- 粗大ごみや燃やせないごみは、品目によって処分方法が変わります。ごみステーションに出せるものかどうかをよく確認してください
- リチウム電池やバッテリーなどは発火の恐れがあります。これらの危険物は収集できないので、販売店などに相談してください



ごみステーションでの注意点

- 日にちや出し方の間違いなどで収集されなかったごみは、「ダメよ！シール」が貼られてごみステーションに残ります。この場合は、ごみを出した人が持ち帰ってください
- 収集に間に合わなかったときには持ち帰り、次の収集日に出しましょう

ごみは正しく出しましょう

- 市のパンフレット「ごみの正しい出し方」や、ごみステーションに設置されている看板を確認して、正しい方法で分別して出しましょう。パンフレットは、市ホームページでも確認できます
- ごみは決められた日の午前8時までに、指定の場所へ出しましょう。収集は午前8時から午後4時まで行っています。日によっては収集時間が大きく変わることがあります
- アパートなどでは、市とは別のルールで収集している場合があります。管理会社などに確認して、それぞれ決められたルールに従って出しましょう



市のパンフレット
「ごみの正しい出し方」

ごみステーション管理者へのお願い

- 案内看板だけでは理解が難しい外国人には、丁寧に捨て方を案内してください
- パンフレットや看板は市が作成・配付しています。外国語版も用意していますので、必要場合は連絡してください。古くなった看板の更新もできます
- 資源ごみなどは、種類別で同日に複数回の収集を行っています。施錠する場合は、ごみが残っていないか確認してから施錠してください
- ごみステーションの新築・移転・改築・廃止を行う場合は、事前に環境課へ連絡してください



～みんなの手で自然を守る～

野口健環境学校

10月21日、総社市環境観光大使の野口健さんを講師に迎え、清掃活動や記念講演を行う「野口健環境学校」が新本小学校を主会場に開催されました。

問い合わせ 環境課美化推進係（☎ 0866—92—8338）

**総社市環境観光大使
アルピニスト 野口健さん**

平成20年に総社市環境観光大使に就任。平成21年から、市内の小学生が環境保全について学ぶことを目的に、環境学校を開催されています。



清掃活動

午前中は野口さんと同小6年生13人が新本小学校の北西に位置する山を清掃。全員でバケツリレーをしてごみを集めました。収集されたごみには、マッサージチェアや冷蔵庫なども含まれていて、総重量は1.9トンにまで及びました。

清掃後、野口さんと児童らは馬頭古城跡に登りました。山頂で児童は、江戸時代に新本地区で起こった農民一揆で犠牲となった“義民”について、野口さんに紹介。義民の歌を披露しました。また、全員で協力して市の木・モミジの記念植樹を行いました。



記念講演

午後は同校の体育館で野口さんの記念講演が行われ、児童の保護者や地元の住民も参加しました。野口さんは、「何かに挑戦するときは、一気に達成しようとするのではなく、地道にコツコツとがんばってほしい。挑戦していたら、誰にでも失敗することがある。そんなときこそ、諦めずに少しでもがんばろうという気持ちをもってほしい」と、自身の経験から得たことを伝えました。講演後、同校の校庭にも、モミジの植樹を行いました。

